

学校長様
児童支援専任・生徒指導専任様
特別支援教育コーディネーター様
養護教諭様



連携支援だより

ウィズコロナの生活が続いています。本校では、感染症拡大予防に努めながら、教育活動を充実させることを模索する日々です。医療、保護者と相談して、子どもたちが多くの活動に取り組めるよう考えてまいります。



さて、例年連携支援だより第1号は、浦舟特別支援学校の紹介をしております。

浦舟特別支援学校は、横浜市立で唯一の病弱特別支援学校です。医療と連携して、小学1年生から中学3年生までの病気療養中のお子さんに教育を行っています。市立の学校ですので、学籍の移動（転校手続）が必要になります。

浦舟特別支援学校には4つの院内学級があります。

- 横浜市立市民病院（神奈川区）
- 横浜市立大学附属市民総合医療センター（南区）
- 横浜市立大学附属病院（金沢区）
- 横浜市立みなと赤十字病院（中区）

また、院内学級がない市内の病院に入院しているお子さんには、訪問指導を行っています。

- 済生会横浜市東部病院
 - 芳生会保土ヶ谷病院
 - 横浜カリアステル
 - 横浜労災病院
- など（令和3年度）

どの場合も主治医の判断と、本人・保護者の希望が必要です。そのうえで教育相談を経て、転入手続となります。

入院中の学習、気持ちの安定、スムーズな復学に向けて、支援をしています。

病気のお子さんへの教育の効果

学習の遅れの軽減

体調を見ながら、なるべく前籍校の学習進度に合わせて学習します。



情緒の安定

お子さんの気持ちを聞き、寄り添います。自立活動として、ゲームや創作活動などを行い、気分転換を図ります。



日常と主体性



入院・治療中という非日常の中で、学校は子どもにとっての日常です。また、主体的に自己選択、自己決定ができる場でもあります。

研修会のご案内

特別支援教育総合センターとの共催で行っている病弱部門研修です。

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、研修会の開催の有無、開催場所、方法（オンライン利用など）の急な変更が考えられます。変更は教育委員会からのお知らせをご確認くださいようお願いいたします。また、本校ホームページでも、決定次第掲載する予定ですので、そちらもご覧ください。

*研修管理システム Leaf からお申し込みください。

第1回「学校と医療の連携」

（仮題）～児童生徒の抱える精神的課題について～

日時：令和4年7月27日（水）15:00～16:45

場所：港南公会堂

（地下鉄港南中央下車 徒歩1分）

講師：横浜市東部地域療育センター 所長 高橋 雄一 氏

内容：子どもの攻撃的な行動を中心にお話しいたします。わたしたち教員が子どもの行動への理解を深めることで、支援が変わり、子どもの行動が変わってくるという良い循環のきっかけとなるよう、高橋先生のお話から一緒に考えていきたいと思ひます。



第2回「学校と医療の連携」

（仮題）～児童生徒の抱える精神的課題について～

日時：令和4年10月20日（木）15:30～16:45

方法：オンライン開催

講師：県立精神医療センター 医師 青山 久美 氏



教育相談について

病気が理由で、市内の病院に入院しているお子さん、登校ができていても病気に対する配慮が必要なお子さんについて、教育相談を受け付けています。

学校だけでなく、保護者からの相談も受け付けておりますので、ぜひご紹介ください。

担当：浦舟特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 鈴木 TEL 243-2624

***お手数ですが、貴校全職員への回覧をお願いいたします。**